

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

人口減少・少子化を見据えた部活動地域移行 整備事業

事業の経過・背景・課題

- 市立中学校の生徒数が、令和5年度679名に対して令和11年度599名（-11.8%）と急激に減少。
- 団体スポーツの成立困難な部を持つ学校や、小規模校で生徒が望むスポーツができない例がある。
- 活動のための「場所・人」の確保と、生徒の移動手段及び地域指導者の確保が大きな課題である。

取組内容

交付実績額： 803 千円

- ・「南丹市部活動在り方検討協議会」を中心に議論を進め、事業の方向性を確認
 - ・1チームの競技人数が多いサッカーと野球を中心に、複数校合同の「南丹市チーム」を作り、地域指導者と教職員が連携して合同練習を実施
 - ・サッカー部と野球部の顧問を集め、本事業の趣旨と具体的な取組について、説明会を開催して周知徹底
 - ・南丹市部活動ガイドラインを令和6年2月に策定し、令和6年4月から施行
- ＜野球部の合同練習会・野球教室＞
- 令和5年11月18日（土）於：美山中
 - 令和5年12月23日（土）於：園部中
 - 令和5年12月25日（月）於：黄檗球場
- ＜サッカー部の合同練習会・サッカー教室＞
- 令和5年11月18日（土）於：園部中
 - 令和6年3月16日（土）於：丹波自然運動公園
 - 令和6年3月28日（土）於：明治国際医療大学



▶南丹市部活動在り方検討協議会



▶合同練習の様子

事業の成果・今後の展望等

- 1校でチームが結成できない学校の部員達が、合同練習を実施したことにより、月1回程度ではあるが多様で活気のある練習が可能となり、次回の練習を熱望する声が聞かれた。
- 顧問がポジション毎に指導に当たることができ、より専門的なアドバイスが可能となることや、技術指導ができない顧問にとって、大きな負担となる部活指導を他校の顧問が行うことで、教員の負担軽減にもつながった。
- 今後は、「南丹市チーム」の考え方をバレーボール部とバスケットボール部にも広げて同様の取組を展開し、文科系部活動（吹奏楽部）における実施を検討するとともに、入部を希望する部が自校にない場合のモデルケースを作成し、試行するなど取組を進めていく。
- 地域指導者の確保に向けて、様々な方面に働きかけを行い、部活動指導員の確保に努める。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0056）